



新毎日新聞

10月9日(日)

2011年(平成23年)

発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社

HARUTA SHOES



ハルタ製靴株式会社

tel.03(3874)3317 http://www.haruta-shoes.co.jp

NEWS



震災で放射線量増え

東海原発廃炉遅れも

北朝鮮「暗殺道具」韓国が公開

体操女子日本、五輪出場決める

東京五輪の「名花」が来日

福島の火祭り 地元産カヤ自粛

25 24 19 7 3

速報更新 | 毎日.jp | mainichi.jp

新希望

東日本大震災被災者と全国を結ぶ「希望新聞」をお届けします。

22

中国からの漢方薬の原料生薬の輸入価格が、06～10年の4年間で約1.6倍に高騰していることが8日、業界団体「日本漢方生薬製剤協会」による初の調査で分かった。経済成長に伴う生活水準の向上で、中国国内での漢方薬の服用量が急増、中国政府が生薬の元となる薬草の乱獲防止を理由に輸出制限していることが背景にある。

【寺田剛】

漢方原料高値の花

中国産 4年で1.6倍に

日本は風邪から肩こり、アレルギー症状まで漢方薬を幅広く利用する漢方大国だが、生薬の8割強は中国からの輸入。薬品業界では「ハイテク機器に欠かせないレアアース(希土類)のように中国が輸出規制を本格化すれば、漢方薬不足や小売価格高騰につながるかねない」と懸念する声も出ている。調査は同協会加盟全74社を対象に、使用量が多い30の生薬を中心に実施。その結果、漢方薬の7割に使われるカンゾウ(甘草)が4年で約22%値上がりしたほか、シヤクヤク(芍薬)が47%、ケイヒ(桂皮)が29%、それぞれ高くな

輸出制限「レアアース」の舞い「懸念

るなど全生薬の値上がりを確認された。加重平均すると価格が4年で1.64倍になった計算だが、業界関係者は「足元では2倍を超えている」と指摘する。

中国産の漢方薬市場は07年で1131億円(医薬品全体の1.8%)。健康意識の高まりを背景に15年には2000億円に拡大する見通しだ。日本メーカーは、今のところ生薬の調達価格上昇分を生産コスト削減でカバーし、漢方薬の値上げを回避しているが、どこまで耐

えられるか。業界には「このままでは、供給責任を果たせなくなる」と危惧する声もある。

漢方薬



古医書の規定に基づき、有効な成分をもつ生薬を複数組み合わせる。風邪の急性期に使う「葛根湯(かっこんとう)」は、カッコンやカンゾウ、タイソウ、ケイヒなどの生薬が配合されている。また、虚弱体質に効果がある「抑肝散(よくかんさん)」はブクリョウが、胃炎や食欲不振に効く「六君子湯(りっくんしとう)」はハンゲなどがそれぞれ主成分で、カンゾウも配合されている。